



西部教育局からのお役立ち情報

今月のトピック紹介版

10月号



【秋田県大館市教育研究所米澤先生から学ぶ授業づくり】
「めあて-まとめ・振り返り」のポイントを子供たちと共有する！

ふるさとキャリア教育モデル事業 日野町の取組
～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進～

すべての子供に「できた」「わかった」を！
ICTを活用した授業づくりの充実に向けて②

【令和3年度全国学力・学習状況調査の出題から見える指導のポイント】
小学校算数科で求められる「説明する力」③

組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」
特別支援教育の一次支援を取り入れた生徒指導

【西部地域開催】

鳥取県エキスパート認定教員による
公開授業及び研修会の御案内

「ほっと通信」

令和4年度使用教科書需要数報告

受取審査会で気付いたこと

「めあて-まとめ・振り返り」のポイントを子供たちと共有する

9月24日に行われた小学校算数科における授業力向上研修会では、秋田県大館市教育研究所の米澤先生より、授業オリエンテーション、模擬授業、講演を通して御指導いただきました。授業オリエンテーションでは、学習の流れを冒険の過程になぞらえて子供たちに説明され、主体的な学びを促されました。本号では実際に米澤先生が子供たちに語られた言葉の一部と、それに関連した教師の指導のポイントをまとめて御紹介します。

テーマ「授業は冒険だ！一人一人が主人公！」

めあて

冒険は小さな「違和感」から始まる→課題発見の力

米澤先生から子供たちへ



違和感をもたないと課題はつくれません。先生にめあてを教えてもらい、やり方も教えてもらっているようでは時代遅れ！社会に出たら役に立ちません。

ここがポイント！

子供の問いから課題をつくる！

- (1) 子供の困り感
- (2) 学びの違和感
- (3) 子供の気付き・疑問

見通し 自力解決

冒険には地図が必要だ →冒険の旅に行くために見通しと自分の考えをもつ

米澤先生から子供たちへ



まずは見通しをもとに一步を踏み出しましょう。分からないからといって人に頼っていたら何も身に付きません。どこが分からないのか、どこで間違ったのか、途中でいいから自分で考えることが大切です。

ここがポイント！

見通しをしっかりとたせる！

- (1) 学習過程の見通し
- (2) 解の見通し
- (3) 方法の見通し

学び合い

冒険には「影の主演」がいる →どんな強い勇者でも、一人で冒険に出ることはできない

米澤先生から子供たちへ



助けてくれる人や、違う考えをもっている人がいるから困難を乗り越えることができます。自分の活躍の場面は自分でつくります。活躍できるタイミングを自分で見つけるのです。

ここがポイント！

「個」の考えをつなぎながら学び、(思考)を深める！

- (1) 発表内容に耳を傾ける
- (2) 発表を聞いている児童を学び合いに巻き込む
- (3) 論点を整理する
- (4) ゆさぶりの発問

まとめ 適用題

新たな知識という宝を発見→知識を自分のものにする

米澤先生から子供たちへ



今日、どんな宝を見つけたのか、先生に教えてもらってもいいけど感動はありませんね。授業の最初はできなくても、発見した宝を使って最後の評価問題が一人でできればいいのです。

ここがポイント！

「めあて」とつながる一般化された「まとめ」を、適用題に活用する！

- (1) ネームプレートを活用し、進捗状況を確認→個別最適化
- (2) 県の単元評価テストの活用

振り返り

冒険を「振り返る」→新たな冒険のはじまり

米澤先生から子供たちへ



誰でもいつでも書けそうな振り返りは望んでいません。今日の冒険で何を得たかを振り返り、記録することが大切なのです。実は算数が苦手な人の方が振り返りは得意です。

ここがポイント！

自己を客観的に見つめることで、今後の学びへとつなげる！

- (1) どのように変容したのか
- (2) どの場面で変容したのか
- (3) 変容の原因は何か
- (4) 生活の中でも活かせるか



ふるさとキャリア教育モデル事業 日野町の取組

～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進～

西部教育局
お役立ち情報
令和3年10月号

日野町では、**地域絵がかり**で子どもたちを育てるための**組織的・計画的な活動**が進められています。

活動例



校内マラソン大会



はるかのひまわりの苗植え



CHA³プログラム

取組の詳細については、こちらのQRコードからも御覧いただくことができます。



「コミュニティ・スクール & 地域学校協働活動【日野町】」Facebook

なぜ、このような学校と地域が一体となった活動ができるのだろう。



町中を走る小学生を、手をたたいて応援し、最後にメダルを首からかけてくれるのは、地域の方たちです。

日野高校の「はるかのひまわり絆プロジェクト」より贈られた苗を小学生と地域の方で植え、思いをつなぎます。

中学生、地域の大人、大学生が共に話し、多様な価値観と出合うことで、自分の目標のきっかけをつかんだり、何かに挑戦しようとする気持ちを持つことができました。
※令和2年度オンライン開催

日野町が**組織的・計画的な活動**を進めることができるポイントは2つあります。

ポイント①：地域学校協働活動推進員の活用

地域学校協働活動推進員が、学校からの取組計画を受け、ボランティアやゲストティーチャーへ**連絡**します。学校担当者、ボランティア、ゲストティーチャー等と共に、**活動の目的やねらい、展開や支援内容**等について協議することで**共有**し、**実践**へとつなげます。そして、活動後に、子どもの様子、指導や支援、展開等について**振り返り、見解を共有**していきます。

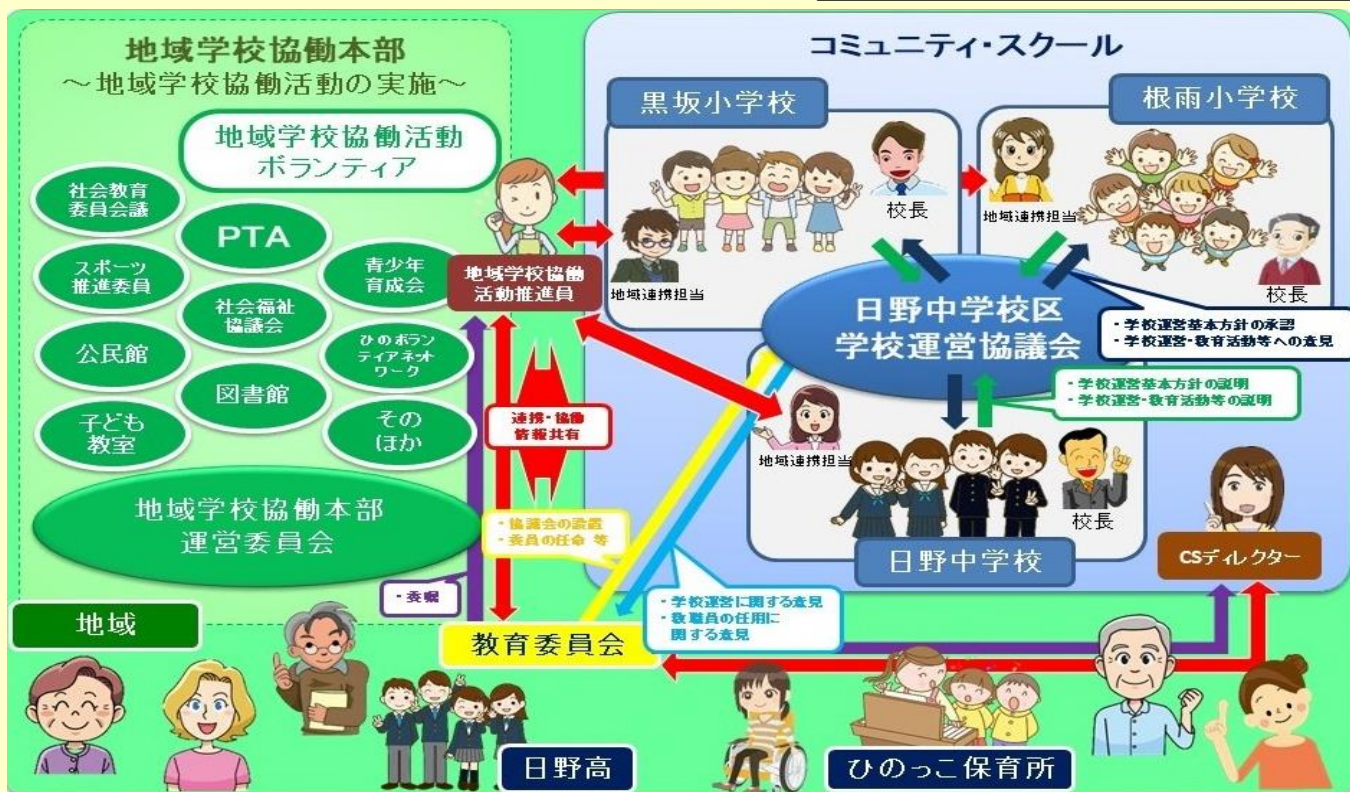
ポイント②：学校運営協議会での情報共有

学校運営協議会では、子どもたちに「**どんな力を付けさせたいのか、どんな子ども像をめざすのか**」について、地域・保護者・学校で共有し、**子どもたちのためにできること**について話し合います。

この2つのポイントは、日野町教育委員会作成の研修資料の中にも位置づけられています。

どこにあるのか見つけてみてください。私たちがヒントです。

[参照] 「ふるさと鳥取大好きプロジェクト」研修資料より（日野町教育委員会作成）



カメラ機能活用例

「とっとりICT活用ハンドブック」で示されている「活用に向けての教員の行動目標(R2~R3)」の1つである、カメラ機能を使う授業場面を紹介します。



教科のねらいに沿って子供たちの学びが深まるように、ICTの利点を生かして、活用していきたいですね。

国語 外国語

技術 家庭
体育 音楽

社会 特別活動
総合的な学習の時間

○自分のスピーチを確認し、改善に生かすために、スピーチの練習を動画で撮影し、視聴し合う。
○撮影した写真を、説明文やプレゼンテーションの資料として活用する。

○技能を高めるために、活動を動画で撮影して視聴し合い、自分で改善点を見付けたり、意見交換を行ったりしたことをもとに再度活動を行う。

○校外学習の様子やゲストティーチャーの話、活動の様子などを動画で撮影しておくことで、後で見直すことができる。
○撮影した写真を、まとめの資料として活用する。

理科 生活

算数 数学

美術 図画工作

○物質の変化や生物の成長の様子に気付けるように、実験の様子を動画で撮影したり、生物を写真で撮影したり、時系列で保存したりする。

○考えを広げたり深めたりするために、ノートの写真モニターで投影したり、個々の端末でいろいろな友達のノートを見合ったりする。

○鑑賞を自分の造形活動に生かすために、作品を写真で撮影し、共有機能を活用してお互いの作品を見合い、感じたことを伝え合う。

重要 学習のねらいや目的を明確にしてICTを活用していきましょう。



文部科学省HP
スタディーエックス スタイル
StuDX Style
GIGAスクール構想を推進させ 学びを豊かに変革していくカタチ



全国の実践事例などが掲載されています。ぜひ、御活用ください。

算数科の学習においては、言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて、筋道を立てて説明したり論理的に考えたりして、自ら納得したり他者を説得したりすることができることが大切です。



授業のねらいを「○○○を考えて説明しよう。」と設定する場合があります。
何が問われていて、何を説明するのか(事実、方法、理由)を明確にした上で、必要な要素について話し合うことが大切です。
 ※単元到達度評価問題にも説明する問題を出題しています。そちらもぜひ、参考にしてください。

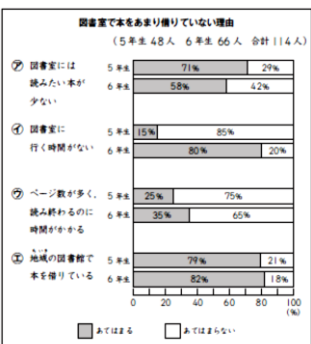
参考「お役立ち情報」
 (R3.7「方法」) (R3.9「理由」)



本号では、「**事実**」を説明する問題を取り上げます。

- ・計算や図形の性質、二つの数量の関係などの説明
- ・表やグラフなどから見いだすことができる特徴や傾向の説明 など

令和3年度全国学力・学習状況調査問題 **3 (4)**



左のグラフについて、5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合のちがいが、いちばん大きい項目はどれですか。また、その項目について、「あてはまる」と答えた②5年生と⑥6年生の割合はそれぞれ何%ですか。
 項目とそれぞれの割合を、言葉と数を使って書きましょう。

- ① 5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合のちがいが、いちばん大きい項目は、**イ図書室に行く時間がない**です。
- ② 5年生が**15%**
- ③ 6年生が**80%**です。

解答類型を分析すると、①は書いているが、②③を書いている児童、無回答の児童の割合が、全国に比べて高くなっていました。

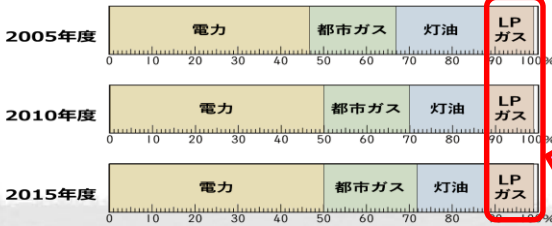
☆数量や図形、数量の関係を**考察して見いだした事実**を、**確認**したり**説明**したりすることが大切!

5年生「割合のグラフ」(P.200~209)

説明する対象を明らかにして説明する。

次の資料から、どんなことがいえるかを考えましょう。

家庭の資げん別消費エネルギー量の割合



グラフから、特徴や傾向、正しい数値を読み取って説明できるようになってほしい...

それぞれのグラフの「灯油」ののところを見ると、灯油の割合がだんだんと減っていることがわかります。
 灯油の割合は、2005年が21%、2010年が18%、2015年が16%です。

授業展開例



家庭の消費エネルギーで一番多いのは、電力です。

LPガスの割合は、変わっていません。



電力の割合が一番多いのはわかるけど、LPガスの割合は本当に変わっていないのかな。



注目! 見いだした事実を確認するための問いかけ

読み取ったことは、本当に正しいと言えるかな?



グラフのLPガスのところに注目してみたよ。確かに、LPガスの割合を表す部分の幅は同じように見えるね。

割合の数値を読み取ってみたよ。どの年も、LPガスの割合は、11%で同じだったよ。だから、変わってないと言えるね。

発見!



それぞれの項目の大きさから分かることだけでなく、数値と合わせると、より納得してもらえる説明になるよ。



グラフのどこの部分を見るかはっきりさせて、何が言えるか考えるといいね。数値も読み取って合わせて考えると、より正しいことが言えるね。





～こんな場面はありませんか？～

- 思い通りにならない時に興奮しやすく、乱暴な言葉や態度が目立つ【事例1】
- 授業中に自分の席を離れたり、教室を出て行ったりしてしまう【事例2】



問題行動等の背景には、学校生活への困り感や不安感があります。起こった事象を指導するだけでなく、**なぜそのような行動をするのかを分析**し、その子供にあった**具体的な支援をする**ことが大切です。

事例1 思い通りにならないと興奮しやすい子供への支援



周りの友達からいろいろ言われて嫌だ！
気持ちをどう伝えていいかわからない！
みんな自分のことを分かってくれない！



自分の感情を上手く表現できなくて困っている状態ということを理解して対応することが大切です。

心の状態を色や数値に表すなど、視覚的なものを利用することで、子供が自分の現状を整理しやすくなります。

支援のポイント

- ①興奮している時は見守り、落ち着いてから話しかける。
※周囲からの刺激によって一層興奮しないように、別室で落ち着かせる。
- ②何に対して感情的になっているのか等、子供の気持ちをしっかり聞く。
※普段より穏やかな口調を心がけ、「どうやってほしかったのか」等を丁寧に聞く。
- ③落ち着いた時に、子供の気持ちに寄り添いながら、「人を殴る、ものを壊すことはいけないことである。」といったことや興奮した時にどう対応すればよかったか等を具体的に示す。

事例2 授業中の離席や教室から飛び出す子供への支援



周りからの音がうるさくて嫌だ！
先生がたくさんのことを大声で言うから聞きたくない！



原因には、多動性・衝動性の他に、聴覚過敏なども考えられます。

いつ・どんな場面で・何をしたときにこのような行動をとるのか、他の子供や教員とのやり取り等も含めて記録をとり、要因を分析することが大切です

支援のポイント

- ①教室内の騒音や声の大きさに気をつけて聴覚刺激を少なくする。
※机やイスの足にテニスボール等の防音材をつける。
※学級全体に対して、適切な声の大きさを指導する。
- ②教員の話し方や声の大きさ等を工夫する。
※緩急のある話し方をしたり、短い言葉で伝えたりする。
※キーワードになる言葉をボード等を書いて視覚化して指示する。

※学校生活に困り感を持っている子供や、学校生活に不安を感じている子供は、通常学級にも多くいます。
学校全体で情報共有し、その子供にあった支援をすべての教員で取り組むことが大切です。

～特別支援教育ほっと通信～



R2.4月号



R2.10月号



鳥取県エキスパート認定教員による

公開授業及び研修会の御案内

西部教育局
令和3年10月



チャンス!

優れた教育実践を行っているエキスパート教員の授業を参観することは、教育技術を学ぶとてもよい機会です。教科等の指導技術や児童生徒がいきいきと学ぶ環境づくり等、具体的な姿から指導のコツやポイントを学ぶことができます。ぜひ、御活用ください。

認定分野

「小学校 国語」

米子市立淀江小学校

米子市淀江町西原244番地2

●授業者

吉田 温子 教諭

- 開催時間【受付】 13:30～
【公開授業】 13:45～14:30
【研究協議】14:45～15:45

●授業内容【単元名】第1学年

「まとめてよぶことば」

- ※「なかまになることば」と「まとめてよぶことば」があることに気付かせる導入の工夫
- ※1年生が意欲的に学習に取り組めるようにする仕掛け（サスペンス調の物語に1年生が巻き込まれていきます。状況に合わせて緊迫感を表情に表す等、御協力をお願いします。）
- ※自主学习につなげる手立て
- ※基本的な学習規律の指導

10月11日
(月)

申し込み締め切り

10月7日
(木)

認定分野

「小学校 音楽」

伯耆町立溝口小学校

西伯郡伯耆町溝口309番地

●授業者

田川 良久 教諭

- 開催時間【受付】 13:40～13:55
【公開授業】14:00～14:45
【研究協議】15:10～16:45

●授業内容【単元名】第6学年

「詩と音楽の関わりを味わおう」

教材名「ふるさと」

- ※日本の音楽のよさを味わって聴いたり歌ったりする。
- ※協働的な学びにより、多様な価値観を共有する。
- ※一人一台端末を利用した学びのまとめを行う。
- ※児童にとって学びやすい指導過程を設定することで、共通教材をより身近なものとして捉えるようにする。

☆オンライン配信での対応も可能です。
御希望の場合は、ファクシミリ送信票に御記入ください。

10月15日
(金)

申し込み締め切り

10月11日
(月)

認定分野

「小学校 音楽」

米子市立福生東小学校

米子市皆生5丁目18番地32号

●授業者

仁科 留美 教諭

- 開催時間【受付】 14:00～14:20
【公開授業】14:30～15:15

●授業内容【単元名】第6学年

「いろいろな和音のひびきを感じ取ろう」

- ※共通事項を意識した指導をすることによって、音楽づくり分野における「思考力、判断力、表現力等」を育てる。
- ※領域を行き来することで積み上げられる学力の定着を目指す。
- ※タブレットを使用し、音楽科全般に対して苦手意識のある児童への興味・関心を促す。

10月22日
(金)

申し込み締め切り

10月15日
(金)

参加
申込

ファクシミリ送信票で、実施校へ直接申し込みをしてください。

※開催案内とファクシミリ送信票は、各校へC4thで送付されています。

また、鳥取県教育センターホームページ【エキスパート教員授業案内】からダウンロードすることもできます。

※公開授業ごとに、締め切り日が異なりますので御注意ください。



☆感染症対策への御協力を
お願いいたします。





特別支援教育ほっと通信

令和3年10月
西部教育局

令和4年度使用教科書需要数報告受取審査会（以下「受取審査会」という）で気付いたこと

次年度、各小中学校に在籍する子どもたちが使用予定の教科書について、冊数や種類等を確認する上記の会を、8月24日（火）に開催しました。その中で、気付いたことを2点紹介します。（特別支援学級関係）

- ◎次年度の**教育課程を検討した上で**、教科書が選定されていました。
- 長期的な視点で子どもたちの姿をイメージすることにつながります。

「ねらいを達成するために、何を使って学ぶのか」という視点で教科書を選ぶことが大切です。需要数の報告までに「特別支援教育よろず相談会（西部教育局主催）」を利用し、教育課程や教科書の選定の方法等について相談に来られる先生もおられました。



- ◎各学校において、子どもたちひとりひとりの**教科書給与リストが丁寧に作成**されていました。

- 二重給与の防止**につながります。
- ↳以前に給与した教科書を再度給与することはできません。
- 学びの履歴が明確**になります。

子どもたちの力を最大限に伸ばすために、**紹介した2点**を確実に実行しましょう。



【重要】

知的障がい特別支援学校の教科「生活」で使用する教科書の給与冊数について、**受取審査会後に訂正**となった部分があります。

(訂正前)

教科	小学校	中学校	備考
知的障がい生活	<ul style="list-style-type: none"> 一般図書を以下の冊数給与できる。 小学校の社会や理科、家庭に関連する内容が含まれるため、上限を設けて複数冊給与できることとする。 1・2年生：上限1冊 3年生：上限2冊 4年生以上：上限3冊 一般図書として、「生活」「社会」「理科」「家庭」「地図」の教科書を給与することが可能。 		<ul style="list-style-type: none"> 種目が分かれていないため、「社会」と「地図」を同時に給与することはできない。

(訂正後)

教科	小学校	中学校	備考
知的障がい生活	<ul style="list-style-type: none"> 一般図書を1冊給与できる。 一般図書として、「生活」「社会」「理科」「家庭」「地図」の教科書を給与することが可能。 		

「令和3年9月2日付第202100137953号鳥取県教育委員会教育長（依頼）」より抜粋



【参考】令和3年6月ほっと通信
「特別支援学級の教科用図書について」



教科書選定の留意事項等については、**特別支援教育の手引（令和2年3月鳥取県教育委員会）**の32～34、85～88ページにありますが、**新しい内容も含めて今年度中に改訂**する予定です。

